

今こそ考えよう 放射線 原子力

平成23年7月16日(土)～10月16日(日)

2011年3月11日、日本は未曾有の大地震に見舞われました。地震と津波により引き起こされた福島第一原子力発電所事故は、発電所のある福島県だけにとどまらず、千葉県を含む広い地域に放射能汚染を広げており、収束までには数十年かかると見込まれています。いまや日本中が、放射線や原子力についての情報を求めています。

県立西部図書館では、県民の皆さん自身が、家族が、周囲の人たちが正確な知識をもとに適切な判断をし、安全・安心して生活を送れるように所蔵資料の展示紹介をしています。過去にも起きていた原発事故の経験から我々は何を学ぶことができるのでしょうか。



1 放射線とは

「放射能」と「放射線」、「ベクレル」と「シーベルト」どこが違うのか。放射線などに関する基礎的な知識を身につけることができる資料です。

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	場所
1	Q&A放射線物理 改訂新版	大塚徳勝/著	共立出版	2007	4294 /7	開架
2	身近な放射線の知識	佐々木康人/著	丸善	2006	5396 /49	開架
3	実感する化学 下		エヌ・ティー・エス	2005	430 /7 /2	開架
4	放射化学	シヨパン/著	丸善	2005	43159/4	開架
5	放射線物理学 改訂4版	上原周三/著	南山堂	2002	4294 /5	開架
6	放射線という言葉に関する意識調査		日本原子力文化振興財団	2002	5396 /46	開架
7	長期放射線被ばく状況における公衆の防護	日本アイソトープ協会/訳	日本アイソトープ協会	2002	53968 /9	開架
8	潜在被ばくの防護 選ばれた放射線源への適用	日本アイソトープ協会/訳	日本アイソトープ協会	1998	53968 /4	開架
9	放射能汚染の現実を超えて	小出裕章/著	北斗出版	1992	5435 /17	書庫

2 過去の原子力災害

2-1 東海村JCO核燃料加工施設臨界事故

日本でも過去に何度か原子力災害が発生しています。その中でも被害が大きかったのが、1999年に起きた東海村での事故です。国際原子力事象評価尺度(INES)での評価はレベル4でした。

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	場所
10	JCO臨界事故その全貌の解明 事実・要因・対応	日本原子力学会 JCO事故調査委員会/編	東海大学出版会	2005	53999/18	開架
11	JCO事故後の原子力世論	岡本浩一/編	ナカニシヤ 出版	2004	539 /3	開架
12	東海村「臨界事故」 国内最大の原子力事故・その責任は核燃機構だ	槌田敦/編著	高文研	2003	53999/12	開架
13	あの日に戻れたら	葛西文字/著	那珂書房	2003	53999/15	開架
14	原子力村	茨城新聞社編集局/編	那珂書房	2002	53999/16	開架
15	みえない恐怖をこえて 村上達也東海村長の証言	村上達也/著	那珂書房	2002	53999/14	開架
16	原子力事故と東海村の人々 原子力施設の立地とまちづくり	斉藤充弘/著	那珂書房	2002	53999/13	開架
17	原発被曝 東海村とチェルノブイリの教訓	広河隆一/著	講談社	2001	36936/2	開架
18	東海村臨界事故の街から 1999年9月30日事故体験の証言	臨界事故の体験を 記録する会/編	旬報社	2001	53999/8	開架
19	青い閃光 ドキュメント東海臨界事故	読売新聞社編集局/著	中央公論新社	2000	53999/4	開架
20	JCO臨界事故と日本の原子力行政 安全政策への提言	JCO臨海事故 総合評価会議/著	七つ森書館	2000	53909/7	書庫
21	眠らない街 検証・東海村臨界事故	相沢一正/編著	実践社	2000	53999/6	開架
22	徹底解明東海村臨界事故	館野淳/著	新日本出版社	2000	53999/3	書庫
23	臨界被曝の衝撃 いまあらためて問う原子力	清水修二/著	リベルタ出版	2000	53999/5	開架
24	ドキュメント・東海村 火災爆発と臨界事故に遭遇した原子力村の試練	国分郁男/編著	ミオシン出版	1999	53999/1	書庫

2-2 チェルノブイリ原子力発電所事故

1986年に旧ソビエト連邦で発生した事故では多量の放射性物質が大気中に放出され、世界規模での被曝をもたらしました。INESは今回の福島での事故と同じレベル7でした。

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	場所
25	チェルノブイリの森 事故後20年の自然誌	メアリー・マイシオ/著	日本放送 出版協会	2007	468 /35	開架
26	旧ソ連の環境破壊 放射線被災の実態	塚本三男/著	静岡新聞社	2003	53999/17	開架
27	チェルノブイリのいのちの記録	菅谷昭/著	晶文社	2001	916 /SU31	書庫
28	チェルノブイリからの伝言 NGO活動10年の軌跡と21世紀への展望	日本チェルノブイリ 連帯基金/編	オフィス・エム	2000	36936/1	開架
29	チェルノブイリ事故による放射能災害 国際共同研究報告書	今中哲二/編	技術と人間	1998	5435 /40	開架
30	原子炉の暴走 SL-1からチェルノブイリまで	石川迪夫/著	日刊工業新聞社	1996	5435 /35	開架
31	チェルノブイリと地球	広河隆一/著	講談社	1996	5435 /28	開架

32	チェルノブイリの遺産	ジョレス・メドヴェージェフ/著	みすず書房	1992	5435 /20	書庫
33	目で見るチェルノブイリの真実	リチャード・F・モールド/著	西村書店	1992	5435 /19	書庫
34	チェルノブイリ報告	広河隆一/著	岩波書店	1991	5435 /H71	書庫
35	チェルノブイリ・汚染大地 5年目の報告	朝日新聞「原発問題」 取材班/著	朝日新聞社	1990	5435 /A82	書庫
36	チェルノブイリの放射能と日本 原子炉事故の教訓と対策	寺島東洋三/編著	東海大学出版会	1989	5396 /24	書庫
37	チェルノブイリ原子力発電所事故の 日本人への影響		放射線医学 総合研究所	1988	4984 /17	書庫

2-3 その他の原子力事故

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	場所
38	若者たちが見た20年目の スリーマイル島原発	伊豆英恵ほか/著	高木学校	2000	5435 /54	開架
39	スリーマイル島への旅 原発、アメリカの選択・日本の明日	伊良子序/著	エディション・ カイエ	1989	5435 /163	書庫
40	高速増殖炉の恐怖 増補版 「もんじゅ」差止訴訟	原子力発電に反対する 福井県民会議/著	緑風出版	1996	5435 /26	書庫
41	高速増殖炉もんじゅ事故	緑風出版部/編	緑風出版	1996	5435 /27	書庫



3 生活と放射線

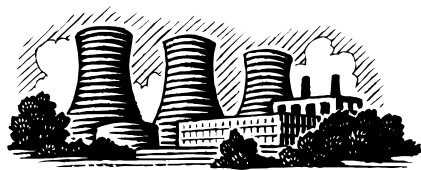
現代の私たちの生活において放射線の利用はもはや欠かせないものとなっています。特に人体への影響が心配される分野としては医療・食品があります。これらの分野ではどのような配慮がされているのでしょうか。

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	場所
42	放射線と現代生活 マリー・キュリーの夢を求めて	アラン・E. ウォルター/著	ERC出版	2006	5396 /50	開架
43	医療被ばく 改訂版 患者さんの不安にどう答えますか？	本間光彦/編著	PILAR PRESS	2010	4924 /77	開架
44	医療従事者のための医療被ばくハンドブック より良いインフォームド・コンセントのために	日本放射線 公衆安全学会/編	文光堂	2008	4924 /73	開架
45	医療被ばく 患者とどのように向き合い伝えていくか	柏田陽子/編著	日本放射線 技師会出版会	2005	4924 /66	開架
46	医療被ばくガイドライン 患者さんのための医療被ばく低減目標値	日本放射線技師会・ 医療被ばくガイドライン委員会/ 編	医療科学者	2002	4924 /64	開架
47	知っていますか？医療と放射線 放射線の基礎から最先端の重粒子線治療まで	放射線医学総合研究所/編	丸善	2007	4924 /70	開架
48	食品・農業分野の放射線利用	林徹/編著	幸書房	2008	49854 /86	開架
49	食品照射 食品の安全性の保持及び向上のための技術	世界保健機関/編	光琳	1989	4985 /89	書庫

4 原子力を考える

原子力や原子炉についての仕組みや歴史、現状などを知ることで風評に惑わされることなく適切な判断ができるようになります。また、原子力発電に伴う核廃棄物の処理についても忘れてはいけない問題です。

No.	書名	著者等	出版者	出版年	請求記号	場所
50	原子炉構造工学 原子力教科書	上坂充・鬼沢邦雄/共著	オーム社	2009	5392 /13	開架
51	原子力プラント工学 原子力教科書	神田誠・梅田賢治/共著	オーム社	2009	5392 /12	開架
52	原子力政策学	神田啓治/編	京都大学 学術出版会	2009	53909 /14	開架
53	プルトニウム発電の恐怖 プルサーマルの危険なウソ	小林圭二/編著	創史社	2006	5435 /57	開架
54	原子力と環境	中村政雄/著	中央公論新社	2006	5016 /163	開架
55	核燃料サイクル20年の真実 六ヶ所村再処理工場始動へ	塚原晶大/著	日本電気協会 新聞部	2006	5394 /16	開架
56	脱原子力の運動と政治 日本のエネルギー政策の転換は可能か	本田宏/著	北海道大学 図書刊行会	2005	53909 /11	開架
57	新原子炉お節介学入門	柴田俊一/著	一宮事務所	2005	53932 /1	開架
58	ほんとうは、どうなの？ 原子力問題のウソ・マコト	上坂冬子/著	PHP研究所	2005	5435 /52	開架
59	諸外国の原子力事情 4～6	エネルギー情報研究会議 事務局/編	エネルギー情報 研究会議	2004～ 2006	5435 /50	開架
60	原子力と報道	中村政雄/著	中央公論新社	2004	5435 /51	開架
61	データが語る原子力の世論 10年にわたる継続調査	原子力安全システム研究所 社会システム研究所/編	プレジデント社	2004	5435 /48	開架
62	米国先住民族と核廃棄物 環境正義をめぐる闘争	石山徳子/著	明石書店	2004	53969 /4	開架
63	海の声を聞く 原子力発電所温排水の観測25年	斉藤武一/著	七つ森書館	2003	5194 /62	開架
64	隠された原発データ 東電事件の教訓	日本工業新聞社 編集局/編	日本工業新聞社	2003	5435 /47	開架
65	高レベル放射性廃棄物の 安全・確実な処分に向けて		原子力発電 環境整備機構	2002	53969 /5	開架
66	日本の原子力施設全データ どこに何があり、何をしているのか	北村行孝/著	講談社	2001	5435 /43	開架
67	核廃棄物は人と共存できるか	マルチャーヌ・ドギオーム/著	緑風出版	2001	53969 /2	開架
68	原子炉解体 安全な退役のために	石川迪夫/著	講談社	1993	5435 /21	書庫
69	高木仁三郎著作集 1～12	高木仁三郎/著	七つ森書館	2001～ 2004	408 /3	書庫



千葉県立西部図書館

〒270-2252 松戸市千駄堀657-7
TEL: 047-385-4133
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp>